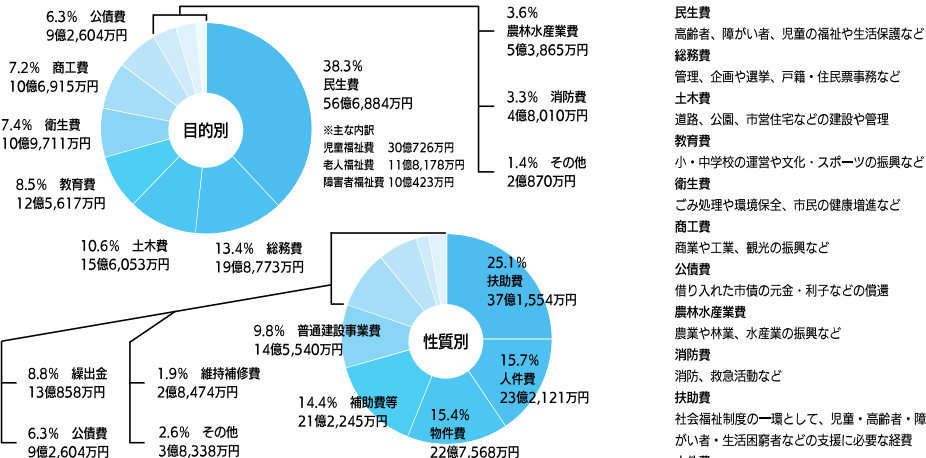


経済対策を通じた個人消費や、経済活動が緩やかに回復しつつあること、民間の設備投資が堅調なことなどから、市税全体で前年度比 8.6% の増としました。また、地方交付税については、引き続き、政府の「こども・子育て支援加速化プラン」に伴う負担や公共施設での光熱費などの増加を考慮するとともに、新たに、給与改定に伴う人件費の増加への対応などから、前年度比 12.1% の増としました。歳入全体として、国県補助金等を積極的に活用するとともに、公共施設などの利用者負担の見直し、交付税措置のある有利な起債の活用や各種基金の取り崩しなどにより、財源の確保に努めました。



多様な人がチャレンジし、共創・イノベーションを起こしながら、笑顔いっぱいのまちに繋げていくための「笑顔いっぱい桜」市民が健康に暮らし、新しいつながりを広げて幸せいっぱいのまちに繋げるための「幸せいっぱい桜」光り輝く次世代に向け人材を育成し、市の魅力を継承していくための「光り輝く桜」の3つの「すべらない」新規重点枠を設けて、財源の重点的・効率的な配分に努めました。また、公共施設や道路、橋梁、公園などのインフラの老朽化が進む中、市民サービスの低下につながる事象への対処や長寿命化に必要な整備、機能廃止した施設の解体などの先送りにできない課題に対して、積極的な投資を行うこととしています。

令和7年度予算

一般会計予算 147 億 9,302 万円 全会計総額 250 億 4,707 万円

※8～11 ページで主な事業を紹介します

令和7年度の一般会計予算は 147 億 9,302 万円で、前年度比 6.7% (9 億 2,423 万円) 増、国民健康保険事業や水道事業などの特別・企業会計予算の総額は 102 億 5,405 万円で、前年度比 1.9% (1 億 9,729 万円) 減となりました。

また、一般会計、特別・企業会計を合わせた予算総額は 250 億 4,707 万円で、前年度比 3.0% (7 億 2,694 万円) 増となっています。社会保障関係経費の増加が見込まれる中、扶助費を中心とした義務的経費を確保するとともに、時代の先を見据え、将来ビジョンを描き、時代に応じて変化していく必要があることから、第5次滑川市総合計画の基本構想において定めた、まちづくりの基本理念「市民起点、市民共創」に沿い将来ビジョン「笑顔いっぱい 幸せいっぱい 光り輝く 滑川」の実現を目指し、各種政策を推進するための積極型予算として編成しました。

会計名	令和7年度予算額	前年度比
一般会計	147 億 9,302 万円	6.7%
特別会計	66 億 7,845 万円	△ 2.4%
国民健康保険事業	24 億 3,782 万円	△ 8.2%
後期高齢者医療事業	10 億 1,732 万円	4.4%
介護保険事業	32 億 2,297 万円	0.4%
工業団地造成事業	34 万円	10.1%
企業会計	35 億 7,560 万円	△ 1.0%
水道事業	8 億 4,462 万円	13.1%
下水道事業	27 億 3,098 万円	△ 4.7%
総合計	250 億 4,707 万円	3.0%

一般会計
市税収入を主な財源に、福祉、保健衛生、土木、教育、消防など市の仕事の大部分をまかなう会計
特別会計
特定の事業を行う場合や特定の収入を特定の支出に充てる場合、一般会計とは別にその経理を明らかにするために設けられた会計
企業会計
民間企業と同じように、事業によって得た収入で支出をまかなう独立採算を原則とする事業について設けられた会計

詳しい内容は
市HPをご覧ください▼



☎ 財政課 ☎ 475-1253

産業など

「SDGｓ宣言」小規模事業者に対する支援

SDGｓ宣言をした小規模事業者に、小口事業資金借入の際の信用保証料に対する補給を上乗せして支援します。

74万円



「幸せいっぱい」のまち

防災対策

感震ブレーカー設置費用の助成

43万円

震災時の通電火災を予防するため、感震ブレーカーの設置費用を助成します。



防災対策

災害情報のマルチメディア発信の強化

360万円

災害時の情報をさまざまな媒体で迅速に発信するシステムを導入します。

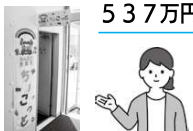


健康・福祉

みんなの居場所「ちょこっと」支援体制の拡充

537万円

複雑化する支援ニーズに対応するため、包括的な支援体制の構築に努めます。



健康・福祉

私立保育所などの遊具整備に対する補助金

150万円

市内の私立保育所、認定こども園での施設整備に加え、屋外遊具更新に必要な経費の一部を助成します。



健康・福祉

夏休み児童館放課後児童クラブの開設

116万円

利用希望者が増える夏休みの期間に、各校区の放課後児童クラブに入れなかった児童を児童館で預かり安全・安心な居場所づくりにつなげます。



産業など

学校給食における地場産食材の購入費用の助成

1,030万円

現行の給食費の保護者負担を維持しながら、地場産食材を積極的に取り入れ、食育の推進を図るとともに、有機栽培米・自然栽培米の学校給食への利用において、費用の一部を助成します。

防災対策

洪水ハザードマップの作成

850万円

中小河川の浸水想定を加えた、新たな洪水ハザードマップを作成します。



防災対策

地域防災緊急整備事業（令和6年度3月補正）

6,500万円

避難所の生活環境の抜本的な改善をはじめ、災害に対応できる地域づくりを進めるため、トイレなどを備えた多目的車両や炊き出し・シャワー等设备、地域の備蓄拠点などを整備します（国の交付金を活用し3月補正対応）。

健康・福祉

男性のHPVワクチン任意予防接種費用の助成

96万円

がんや性感染症の予防を期待し、小学6年生から高校1年生の年齢に相当する男性に任意接種費用を助成します。



健康・福祉

こども誰でも通園制度事業

252万円

6カ月～2歳児を対象に、月一定時間まで従来の就労要件を問わず柔軟に利用できる通園制度を試行的に実施します。



健康・福祉

大学などの受験料助成

53万円

ひとり親家庭等の子、大学などの受験料を助成します。



「笑顔いっぱい」のまち

DXの推進

「やさしい窓口」の推進に向けたDX化

288万円

市役所窓口での手続きをより簡単・便利にするためのシステムを導入します。



DXの推進

市民共創ポイント事業

223万円

従来の健康増進の取り組みに加え、ボランティアや地域活動の参加など幅広い取り組みをポイント対象に広げ、市民と行政が協力して行う地域課題の解決などに活用します。



DXの推進

中小企業などのDX伴走支援やDXアドバイザー育成

1,500万円

地域の中小企業などが社会変化に対応し、競争力を高めるためのDX伴走支援を行います。また、地域の人材が地域の企業などを支える「人材の地産地消」による地域経済の好循環に向け、DXアドバイザーを育成します。

まちづくり

市総合計画(後期基本計画)の策定

119万円

「第5次滑川市総合計画」の令和8年度からの5年間の後期基本計画を策定します。

将来ビジョン
「笑顔いっぱい
幸せいっぱい
光り輝く滑川」

まちづくり

まちづくり戦略の策定・推進

370万円

「まちづくり共創会議」に分科会を設置し、まちの要素(好きな食、場所、文化など)の洗い出しを行い、事業アイデアを検討した戦略を策定するとともに、まちづくりを実践します。

産業など

地域農産物のブランド化・スマート農業の推進

140万円

地域農産物のブランド化を進めるための費用や、スマート農業用機械などの導入費用に対して助成します。



DXの推進

公共施設予約管理システムの導入

506万円

市が所管している施設の利用予約をインターネット上でできるようにするためのシステムを導入します。



DXの推進

誰1人取り残されない情報伝達事業

847万円

誰もがデジタル技術の恩恵を受け、円滑な情報伝達や豊かな暮らしを送れるよう、デジタル機器を持たない・使えない方向けサービスの実証実験を行います。

DXの推進

AIオンデマンドバスの実証運行

1,637万円

公共交通機関の利便性向上と持続可能な運行体制を確保するため、コミュニティバスのオンデマンド化に向けた実証実験を行います。



まちづくり

地域力創造アドバイザーの活用

560万円

地域活性化に関する知見やノウハウを有する外部専門家を招き、地域独自の魅力や価値向上に取り組みます。



まちづくり

立地適正化計画の策定

796万円

コンパクトシティ化(集約都市形成)に向けた滑川市立地適正化計画を策定します。



産業など

「富富富」種もみ購入費の助成

263万円

高温などに強い「富富富」の種もみ購入費用を全額助成し、生産拡大・品質向上・農業者所得の安定を推進します。



教育

こども条例の制定・こども計画の策定

519万円

こども基本法を踏まえ、市の子ども政策を総合的に推進していくため、こども条例・こども計画を策定します。



SDGsの推進

藻場の潜水等調査

500万円

市沿岸の藻場の現状や環境に適した藻場の造成方法を産官学連携で調査します。



SDGsの推進

GXアドバイザーの育成

180万円

市内でのGX人材を育成するため、環境省が認定する民間資格の受講、資格取得を支援します。



SDGsの推進

太陽光発電・小水力発電導入可能性の調査

1,450万円

公共施設への太陽光発電設置の可否を調査します。また、農業用水路を活用した小水力発電の導入可能性調査を実施する市内事業者を支援します。



SDGsの推進

地場産再生エネルギーの購入

50万円

早月発電所をはじめとする市内既存施設での再生可能エネルギーを公共施設で活用し電力の地産地消を推進します。



SDGsの推進

公共施設照明、街灯のLED化改修

1億7,552万円

市民交流プラザ、博物館などの公共施設や街灯のLED化を進めます。



公共施設の改修など

公共施設やインフラなどの老朽化が進む中で、市民サービスの維持・向上のため必要な整備や廃止した施設の解体などを行います。

旧タラソピアの解体、関連設備の移設

1億9,500万円



火葬場の大規模改修(排気ガス処理用バグフィルタ交換)

3,150万円



海浜公園駐車場舗装などの公園施設整備工事

2,890万円



市民交流プラザ「あいらぶ湯」給湯設備更新工事など

1億2,740万円



滑川中央線排水ポンプ施設の更新

4,820万円



音響設備改善などの中滑川複合施設(メリカ)整備工事

750万円



新しいつながりなど

地域おこし協力隊員の拡充

1,474万円

都市部の人材を「地域おこし協力隊」として受け入れ、定住・定着を図り、その活動を通じて地域力の維持・強化を目指します。



新しいつながりなど

観光PRサイトなどのリニューアル

760万円

観光協会の観光ウェブサイトの更新などの費用を助成します。



新しいつながりなど

ベトナム友好促進

325万円

ランタンまつりをはじめとした、灯りイベントやベトナムとの連携推進の費用を助成します。



空き教室などを利用し、不登校からの復帰を目指す児童・生徒や不登校の兆候がみられる児童・生徒を支援するため、校内教育支援センター「ほっとルーム」を設置します。

空き教室などを利用し、不登校からの復帰を目指す児童・生徒や不登校の兆候がみられる児童・生徒を支援するため、校内教育支援センター「ほっとルーム」を設置します。

教育

教頭マネジメント支援員の配置、

総合人材バンクの共同設置

175万円

教頭の学校マネジメントなどを補佐する支援員を配置します。また、上市町・舟橋村と共同で教職員の人材バンクを設置します。

教育

統合型校務支援システムの導入

2,970万円

児童・生徒の成績や健康の情報などを一元管理できるシステムを導入します。



教育

全ての小中学校での学校運営協議会の設置

109万円

保護者や地域の方の意見を学校運営に反映して、地域と共にある学校づくりを進めています。



新しいつながりなど

観光PRサイトなどのリニューアル

760万円

観光協会の観光ウェブサイトの更新などの費用を助成します。



新しいつながりなど

ベトナム友好促進

325万円

ランタンまつりをはじめとした、灯りイベントやベトナムとの連携推進の費用を助成します。

新しいつながりなど

高校などの通学費・教材費の助成

1,166万円

義務教育修了後に進学した生徒やその保護者を支援するため、通学定期券や教科書・タブレット(新1年生)の購入などの費用を支援します。



教育

教育用ネットワーク機器の更新、回線の増強

1,249万円

教育用ネットワークの安全性向上のため、外部からの不正アクセスやウイルスを防ぐUTM(統合脅威管理)の設置、ネットワーク回線の増強を行います。



教育

中学校体育館の空調設備設置に向けた調査

320万円

学校体育館の空調設備の整備に向け、活用頻度の高い中学校2校の断熱性などの状況を調査します。



教育

キラリンを使ったブックスタート用絵本の作成

160万円

キラリンを使ったブックスタート用の絵本を作成し、子どもたちが本に親しみきっかけとします。

